

令和5年度高速交通ネットワーク整備推進特別委員会管外視察の概要

- 1 視察日 令和5年11月15日(水)～11月17日(金)
- 2 視察者 高速交通ネットワーク整備推進特別委員会委員(14名)
河津修司(委員長)、中村亮彦(副委員長)、藤川隆夫、鎌田 聡、池田和貴、高木健次、増永慎一郎、松村秀逸、竹崎和虎、本田雄三、堤 泰之、斎藤陽子、杉蔦ミカ、星野愛斗
- 3 視察先 (1)チャイナエアライン本社(桃園市)
(2)スターラックス航空本社(台北市)
(3)台湾交通部高速公路局(新北市)
(4)三普旅行社(台北市)
(5)台北市中心部～新竹サイエンスパーク～桃園国際空港までの高速道路等(台北市、新竹市、桃園市)
- 4 視察目的 本年9月に新規就航(熊本ー台北線)した航空会社や日本から台湾へのアウトバウンドに取り組んでいる旅行会社と意見交換を行い、また、台湾で高速道路等幹線道路の整備・管理を行う台湾当局から取組内容の聞き取り及び現地調査を行い、今後の委員会審議の参考とするため、視察調査を実施した。

5 視察の概要

(1) チャイナエアライン本社

チャイナエアラインが9月18日に新規就航(熊本ー台北線)したことから、就航後の利用状況を情報収集するとともに、今後の路線維持・拡大に向けた観光・ビジネスでの航空路線の利用促進に係る意見交換を行いました。

今回、同社から直接話を伺うことにより、本県が取り組む航空路線の利用促進(国際線の振興)のための参考情報を広く収集することができました。



(2) スターラックス航空本社

スターラックス航空が9月1日に新規就航(熊本ー台北線)したことから、就航後の利用状況を情報収集するとともに、今後の路線維持・拡大に向けた観光・ビジネスでの航空路線の利用促進に係る意見交換を行いました。

今回、同社から直接話を伺うことにより、本県が取り組む航空路線の利用促進(国際線の振興)のための参考情報を広く収集することができました。



(3) 台湾交通部高速公路局

台北市中心部から工業団地（新竹サイエンスパーク等）及び空港（桃園国際空港等）までの交通アクセスや道路整備状況及び取組等について、聞き取り及び意見交換を行うとともに、台湾のETCシステムについて現地視察を行いました。

今回、同社から直接話を伺うことにより、本県が取り組む高規格幹線道路等の整備のための参考情報を広く収集することができました。



(4) 三普旅行社

熊本—台北線の利用拡大を図るため、日本からのアウトバウンド対応の業務を展開し、熊本では九州産交ツーリズムと連携して、熊本からの旅行者を多く受け入れている同社の取組内容を聞き取るとともに、熊本から台湾へのアウトバウンドのさらなる需要促進等に係る意見交換を行いました。

今回、同社から直接話を伺うことにより、本県が取り組む航空路線の利用促進（国際線の振興）のためのアウトバウンド需要促進等に係る参考情報を広く収集することができました。



(5) 台北市中心部～新竹サイエンスパーク～桃園国際空港までの高速道路及び工業団地への交通アクセス及び道路整備状況

前日の台湾交通部高速公路局からの説明を受け、台北市中心部から新竹サイエンスパークまでの高速道路の状況、また、新竹サイエンスパークでは工業団地内道路の状況、さらに新竹サイエンスパークから桃園国際空港までの高速道路の状況を視察し、市街地、工業団地及び空港間の交通アクセス及び道路整備等の状況の確認を行い、本県が取り組む高規格幹線道路等や空港アクセスの整備のための参考情報を広く収集することができました。